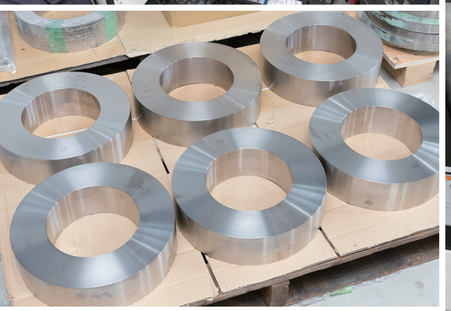
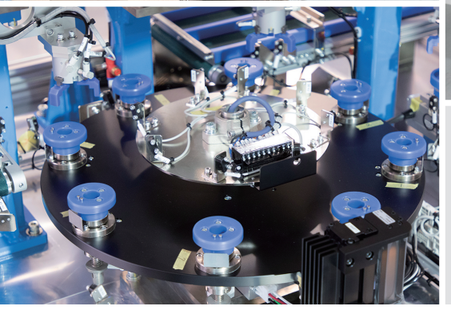
株式会社 鯖江工業所

▶対 象 類 型　精密加工
▶事 業 類 型　高度生産性向上型
　　最新モデル
▶主たる目的　生産性向上・技術革新

IoT社会に貢献する電子部品メッキ処理工程向け チタン製品の精密加工技術開発事業









2
3
4
1

1／旋削、穴開けなど複合的な機能を備えた最新のCNC旋盤。チップの交換時期なども教えてくれる。 2／自動プログラミング機能で、誰が操作しても均一な品質の製品が一定のスピードで生産できるようになった。 3／材料となるチタン材。小さなチタン材の加工はメガネ製造の現場で行われてきたが、大きなものの加工は難易度が高い。
4／CNC旋盤で加工した部品を使った省力化の機械。チタン以外にも、このようにさまざまな金属の加工で活用が見込める。

最新旋盤の導入で、チタン材の高精度・高効率加工を実現。

鯖江工業所は、顧客のメーカーが製品を製造する工程で省力化を図るための機器・装置を、要望に沿って設計・製作している。業種は幅広いが、IoT（Internet of Things）が加速する近年では、電子部品の製造関連企業からの依頼が増えている。現在、自動車や通信機器などに搭載される電子部品の多くには「メッキ処理」が行われる。この処理ラインを製造する際に避けて通れないのが、チタン材の加工である。

チタンは高い硬度と耐熱性・耐腐食性を誇る優れた素材である反面、加工が非常に難しい。チタンを加工する切削工具のチップ（刃）が熱で壊れてしまうなど扱いが難しく、加工には高い技術を要する。しかし、メッキ処理部品以外にもチタン材加工は増えると見込まれるため、今回の最新CNC旋盤の導入に踏み切った。

高性能CNC旋盤の活用により、同社のチタン材の加工技術は飛躍的に進化。今まで外注に頼ったり、作業を2度に分けて対応していた工程が一度で済むなど、社内でスピーディーに処理できるようになった。加工精度も目標を上回り、コスト引き下げにも成功。あらゆる場面で汎用性が高い最新旋盤の導入で、より顧客の要求に応えられる体制が整った。

注目すべき成果

目標を越える加工精度と大幅な時間短縮。

導入したCNC旋盤の複合旋削加工機能を活用し、旋削は目標とする±10μmを上回る7～8μmの誤差で安定加工することが可能になった。従来34時間だった加工時間も、8時間と大幅に削減することができた。

注目すべき成果

コストダウンにより競争力が向上。

加工時間の短縮と作業工程の簡略化により、人件費部分の製造コストを下げることができ、部品1個当たり347,300円が253,700円と大幅なコスト削減に成功。競争力の飛躍的な向上に繋がった。

今後の展望

IoT社会で求められるチタン加工が自在に。

IoT社会が加速する現代、これからの製造業では必須ともいえるチタン材の加工が、社内で対応可能になった。あらゆる要望に柔軟に対応できる体制が整い、今後は受注する分野もさらに広がることが期待される。

ものづくり専門員から一言

鯖江らしいものづくりをリード。

鯖江では、メガネの部品としてチタン材の加工に早くから取り組んでいたが、大きなものは加工の難易度が高く、1社だけですべてを行うことは難しかった。同社は今回、これに挑戦して成功。チタンを扱う地元企業にとっても、発奮材料になると思う。

こんな会社です！

グローバルな視点でものづくりに取り組む。

独創的なものづくりには、ベテランの経験や技術と、若い柔軟な感性が必要です。弊社が作る省力化の機械が評価をいただいているのは、このバランスの良さが要因のひとつだと思います。今後は若手社員の教育システムを整え、そのための環境整備にも力を注いでいきます。また弊社は2007年に中国・蘇州市に工場を設立し、海外からの研修生も受け入れています。さらにグローバルな視点を持って、ものづくりに取り組んでいきたいですね。



代表取締役社長
宇野 伸彦さん



設計部門の社員たち。設計・加工・組立の各部門が連携し、最新機器と職人技を駆使してオリジナルの機械が生み出される。



本社

株式会社 鯖江工業所

代表者／代表取締役社長 宇野 伸彦
設立／平成元年(1989年)4月
（創業 昭和22年4月）
資本金／1,000万円
従業員数／56人
事業内容／各種省力化機器
および関連装置の設計、製作
〒916-0073 鯖江市下野田町26-1-1
☎0778-62-3300　FAX.0778-62-3315
E-mail info@sabako.jp